

原子燃料サイクル事業の現在の状況について

1. 新規規制基準への対応状況

各事業とも補正書を提出し、記載の適正化を行うなど、引き続き審査合格に向けて対応している。

<低レベル放射性廃棄物埋設事業>

・6月22日審査会合のコメントを反映しているところであり、準備が整い次第、補正書を提出する。

<高レベル放射性廃棄物管理事業>

・再処理事業変更許可申請書の補正(2020年4月28日一部補正)の内容を踏まえ、廃棄物管理事業変更許可申請書への反映が必要な内容についての記載を適正化、合わせて考慮する自然現象に「太陽フレア、磁気嵐」を追加し、7月13日に補正書を提出した。

<再処理事業>

・7月1日ヒアリングにおけるコメントを踏まえ、実用発電炉との整合及び申請書の記載の明確化をはかるため、考慮する自然現象に「太陽フレア、磁気嵐」の追加を行い、7月13日に補正書を提出した。

<MOX燃料加工事業>

・審査会合における説明を実施中であり、主に重大事故の対処について確認を受けているところ。
・補正書についても並行して作業を進めており、審査会合での説明の終了後速やかに提出できるよう準備を進めている。

2. ウラン濃縮事業

(1) 運転状況

生産運転停止中

3. 低レベル放射性廃棄物埋設事業

(1) 低レベル放射性廃棄物受入れ・埋設実績

		受入れ本数	埋設本数
令和2年4月～ 令和2年6月末までの実績	1号埋設設備	0本	0本
	2号埋設設備	480本	2,352本
令和2年4月～令和2年6月末までの合計		480本	2,352本

(2) 令和2年度第1回低レベル放射性廃棄物の輸送終了

令和2年6月25日に関西電力(株)美浜発電所から低レベル放射性廃棄物200リットルドラム缶480本(輸送容器60個)を受入れ、令和2年度第1回低レベル放射性廃棄物の輸送が終了した。

・2号埋設対象廃棄物(充填固化体) 480本

4. 高レベル放射性廃棄物管理事業

(1) 返還ガラス固化体受入れ・管理実績

	受入本数	管理本数
令和2年4月～令和2年6月末までの実績	0本	0本

5. 再処理事業

(1) 工事の進捗状況(令和2年6月末現在)

再処理施設本体工事進捗率 約99%

(2) アクティブ試験の進捗率(令和2年6月末現在)

総合進捗率 約96%

(3) 使用済燃料受入れ量、再処理量

		受入れ量		再処理量	
令和2年4月～ 令和2年6月末までの実績	PWR	0体	0トンU	0体	0トンU
	BWR	0体	0トンU	0体	0トンU
令和2年4月～令和2年6月末までの合計		0体	0トンU	0体	0トンU

6. MOX燃料加工事業

(1) 工事の進捗状況(令和2年6月末現在)

工事進捗率 約11.8%

7.トラブル等一覧

件名	日本原子力発電(株)東海第二発電所への低レベル放射性廃棄体における錆による損傷の確認(前回報告済み)
日時	令和2年3月19日
場所	低レベル 廃棄物管理建屋
事象概要	<p>令和2年2月28日から29日に受け入れ一時貯蔵している日本原子力発電(株)東海第二発電所の低レベル放射性廃棄体(200リットルドラム缶 832本)の設置に向けた検査をしていたところ1本の底部に錆による損傷があることを確認した。当該廃棄体の表面汚染測定を行った結果、検出限界未満であり、周辺環境への影響はないことを確認した。</p> <p>当該廃棄体については、搬出元の電力会社において詳細調査を行うため、令和2年5月7日に返送した。</p> <p><返送した廃棄体> 2号埋設対象廃棄体(充填固化体) 1本</p>
原因	調査中。
対応	原因調査結果を踏まえて対応。
件名	当社敷地内(管理区域外)における火災の発生(前回報告済み)
日時	令和2年3月21日11時30分頃
場所	緊急時対策建屋(建設中)の工事現場(管理区域外)
事象概要	<p>協力会社作業員が電線管サポートの溶接作業を行っていたところ、スパッタ(溶けた金属)が難燃シートを貫通し、その下にある養生シートに引火したため、直ちに消火活動を行い消火し、その後、公設消防に通報した。</p> <p>公設消防による現場確認の結果、12時05分に火災と判断されるとともに、鎮火が確認された。負傷者はなく、本事象による周辺環境への影響もない。</p>
原因	調査中。
対応	原因調査結果を踏まえて対応。
件名	ウラン濃縮工場 ウラン濃縮建屋(管理区域内)における排風機1台の故障
日時	令和2年6月25日17時41分頃
場所	ウラン濃縮工場ウラン濃縮建屋(管理区域内)の1号中間室 ^{※1}
事象概要	<p>^{※1} 1号中間室:カスケード設備へウランを供給・回収するための機器・配管を設置している場所</p> <p>1号中間室の負圧を維持している排風機3台(A,B,C)^{※2}のうち2台(A,B)で運転していたが、排風機AからCへ切り替え作業を行ったところ、排風機故障警報が発報した。</p> <p>現場を確認した結果、排風機Cが停止しており、速やかに手で排風機Aへ切り替えを行った。排風機A,Bは正常に運転しており、同中間室内の負圧は維持されていることを確認している。</p> <p>なお、本事象によるモニタリングポストの値に変化はなく、環境への影響はない。</p> <p>^{※2} 負圧を維持する排風機は3台あり、そのうち2台で運転し、残りの1台は予備として待機</p>
原因	調査中。
対応	原因調査結果を踏まえて対応。
件名	再処理事業所構内(管理区域外)における車両からの火煙の確認
日時	令和2年7月3日8時35分頃
場所	一般廃棄物処理建屋 [※] (管理区域外)
事象概要	<p>[※] 放射性廃棄物でない一般的な廃棄物を収集し、社外に運搬する前の集積場所</p> <p>一般廃棄物処理建屋(管理区域外)近傍において、作業開始前に協力会社作業員が廃棄物運搬車両を確認した際に、異臭を感じてエンジン部分を確認したところ、火煙を確認したことから、直ちに消火器により消火するとともに、公設消防に通報した。</p> <p>公設消防による現場確認の結果、9時20分に火災と判断されるとともに、鎮火が確認された。本事象による負傷者はいなかった。</p>
原因	調査中。
対応	構内車両のエンジンルームの目視点検を実施。 原因調査結果を踏まえて対応。

以上

「詳細については、当社ホームページから確認することができます。(https://www.jnfl.co.jp/)」